

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道478号 丹波綾部道路
事業主体	近畿地方整備局、京都府道路公社

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.4 (経済的純現在価値 (B-C) = 1000億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 5.7%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 2.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 1465億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 11.6%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 78528万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 382万人・時間/年 (149782万人・時間/年 ⇒ 149400万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について : 丹波綾部道路 一般国道173号 一般国道27号 一般国道9号 市島和知線丹波三和線上川合猪鼻線中山綾部線 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 271万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 5割削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道27号 (綾部市味方町久保勝～綾部市味方町鴨ノ堂)、(旅行速度 : 18.9km/h→改善見込み)
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	京都交通バス
		<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	舞鶴市役所～JR京都駅(所要時間 : 約122分⇒約104分)
		<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
物流効率化の支援		<input checked="" type="checkbox"/> 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	京都市役所～京都舞鶴港(所要時間 : 約120分⇒約101分)
		<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	舞鶴市、主な出荷先 : 京都市中央卸売市場 (特産品 : 万願寺甘とう)
都市の再生		<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 三大都市圏の環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	舞鶴市～京都市間を結ぶ京都縦貫自動車道の一部を構成する
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	舞鶴市役所～京都市役所(所要時間：約129分⇒約111分)
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	綾部市役所～京都府庁(所要時間：約93分⇒約91分)
	個性ある地域の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	京丹波町が「丹波PA(仮称)と一体的な地域振興拠点整備基本計画」を策定 (H23.12)
		<input checked="" type="checkbox"/> IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	天橋立(宮津市)：年間観光客入り込み数：約1,607,600人/年 (H24年度)
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	綾部市役所～京都第一赤十字病院(京都市)(所要時間：約104分⇒約87分)
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 並行区間等に死傷事故率が500件/徳台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	京都府緊急輸送道路ネットワーク計画(第1次緊急輸送道路)
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道27号(綾部市安国寺町～京丹波町蒲生)	
	<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する		
	<input type="checkbox"/> 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する		
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：27371.04t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	(推計結果) 評価対象区間(現道/平行区間等)：丹波綾部道路 一般国道173号 一般国道27号 一般国道9号 市島和知線丹波三和線上川合猪鼻線中山綾部線 排出削減量：113.06t/年、排出削減率：4割削減 (バイパス事業の場合) バイパス等についてNOx排出増加量：102.78t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	(推計結果) 評価対象区間(現道/平行区間等)：丹波綾部道路 一般国道173号 一般国道27号 一般国道9号 市島和知線丹波三和線上川合猪鼻線中山綾部線 排出削減量：6.48t/年、排出削減率：4割削減 (バイパス事業の場合) バイパス等についてSPM排出増加量：5.01t/年
		<input type="checkbox"/> 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
	5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道478号	丹波綾部道路	L=29.2km	高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
16,500	4車線	近畿地方整備局 京都府道路公社

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	2,044億円	460億円	2,504億円
うち残事業分	928億円	460億円	1,387億円
基準年における 現在価値 (C)	2,175億円	169億円	2,343億円
うち残事業分	840億円	169億円	1,009億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成30年度			
単年便益 (初年便益)	157億円	28億円	7.7億円	193億円
基準年における 現在価値 (B)	2,724億円	490億円	129億円	3,343億円
うち残事業分	2,034億円	343億円	97億円	2,474億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	1,000億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.7%
費用便益比（残事業）	2.5
経済的純現在価値（残事業）	1,465億円
経済的内部収益率（残事業）	11.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （全事業）	16,500台/日	±10%	1.2~1.7
事業費 （全事業）	928億円	±10%	1.4~1.5
事業期間 （全事業）	4年	±20%	1.4~1.5

【残事業】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （残事業）	16,500台/日	±10%	2.0~2.9
事業費 （残事業）	928億円	±10%	2.3~2.7
事業期間 （残事業）	4年	±20%	2.4~2.5

交通状況の変化

様式-3①

事業名：丹波綾部道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (29.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	15,900	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	25	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	74.73	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道 173号 (19.0km)	交通量	[台/日]	11,300	7,800
		走行時間	[分]	35	30
		走行時間費用	[億円/年]	71.34	44.20
	一般国道27 号 (38.9km)	交通量	[台/日]	10,200	6,800
		走行時間	[分]	71	61
		走行時間費用	[億円/年]	129.51	72.04
	一般国道9 号 (34.3km)	交通量	[台/日]	12,600	10,400
		走行時間	[分]	65	61
		走行時間費用	[億円/年]	148.66	113.64
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (25.257.6km)	走行時間費用	[億円/年]	174,207.49	174,088.67	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：25,379.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	174,557.00	174,393.28	163.72

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

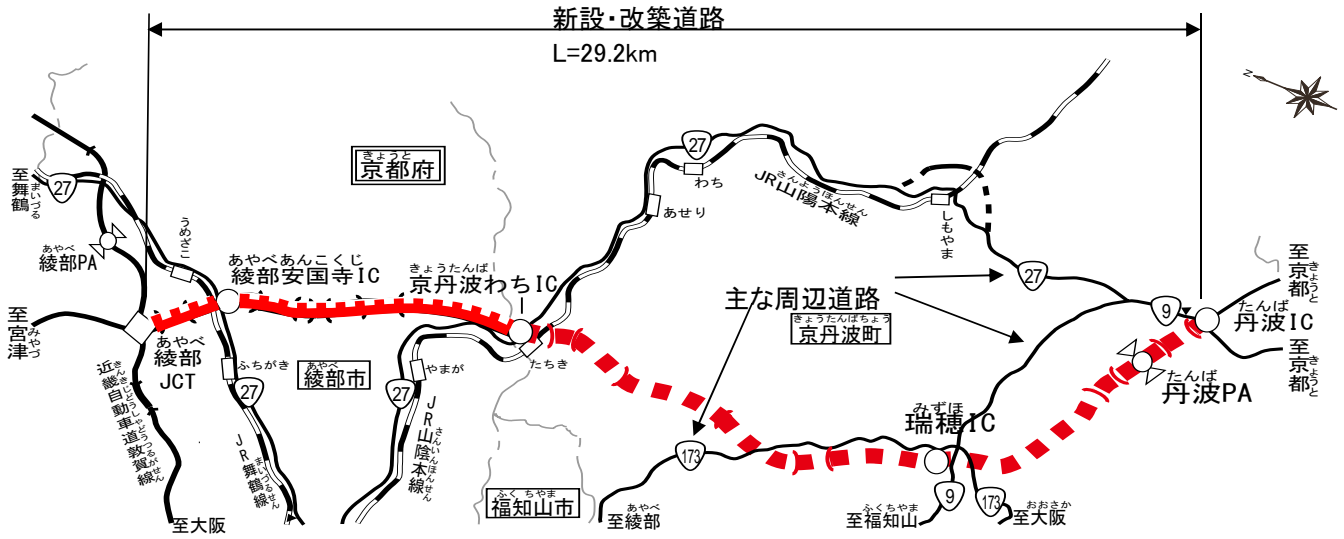
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：丹波綾部道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (29.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	6,900	15,900	
	走行時間 ^{※2}	[分]	11	25	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	13.86	74.73	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道 173号 (19.0km)	交通量	[台/日]	11,000	7,800
		走行時間	[分]	34	30
		走行時間費用	[億円/年]	69.53	44.20
	一般国道27 号 (38.9km)	交通量	[台/日]	9,800	6,800
		走行時間	[分]	71	61
		走行時間費用	[億円/年]	124.58	72.04
	一般国道9 号 (34.3km)	交通量	[台/日]	12,600	10,400
		走行時間	[分]	65	61
		走行時間費用	[億円/年]	147.31	113.64
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	交通量	[台/日]	0	0	
	走行時間	[分]	0	0	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (25.257.6km)	走行時間費用	[億円/年]	174,160.28	174,088.67	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：25,379.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	174,515.55	174,393.28	122.28

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

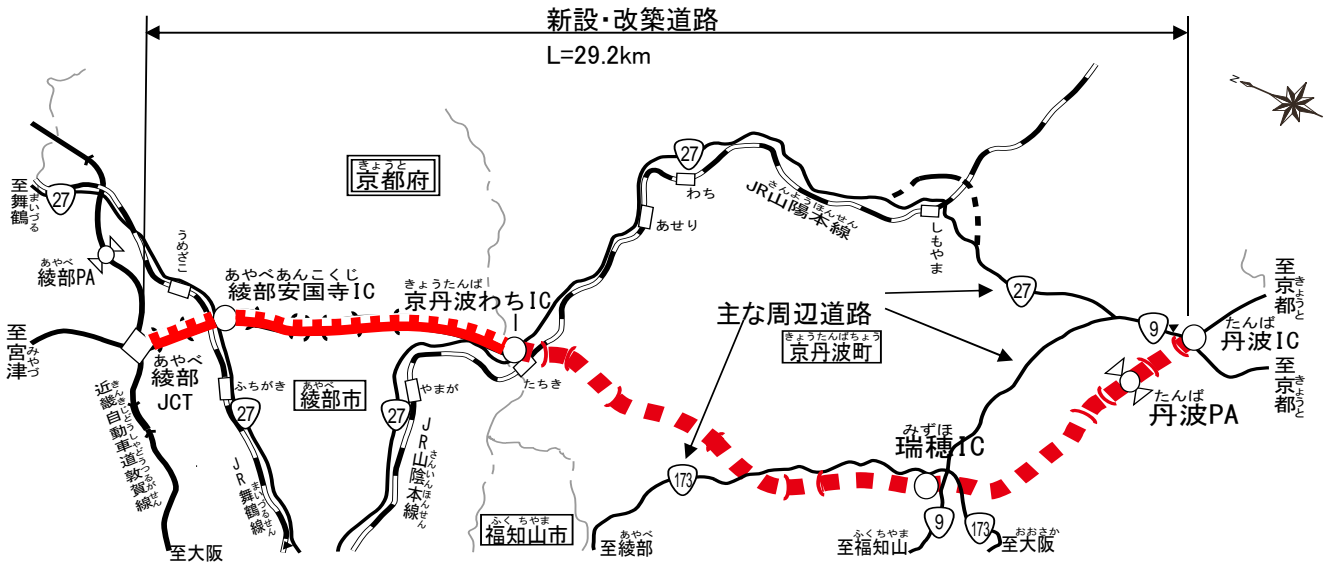
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：丹波綾部道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成25年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由 小規模事業である	<input type="checkbox"/>
	山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他()	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道478号 丹波綾部道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.33	29.2	9.65

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-25年目	H 5	2.1911	110.9	1.26	2.30		
-24年目	H 6	2.1068	110.8	2.23	3.91		
-23年目	H 7	2.0258	109.9	8.83	15.00		
-22年目	H 8	1.9479	109.5	15.92	26.09		
-21年目	H 9	1.8730	110.4	18.87	29.48		
-20年目	H 10	1.8009	109.9	39.70	59.92		
-19年目	H 11	1.7317	108.4	47.72	70.22		
-18年目	H 12	1.6651	107.2	46.57	66.62		
-17年目	H 13	1.6010	105.7	62.99	87.87		
-16年目	H 14	1.5395	103.8	51.73	70.67		
-15年目	H 15	1.4802	102.3	26.43	35.22		
-14年目	H 16	1.4233	101.0	40.56	52.64		
-13年目	H 17	1.3686	99.6	43.58	55.15		
-12年目	H 18	1.3159	98.7	57.81	70.98		
-11年目	H 19	1.2653	97.6	69.82	83.36		
-10年目	H 20	1.2167	96.8	35.53	41.13		
-9年目	H 21	1.1699	95.6	60.94	68.69		
-8年目	H 22	1.1249	93.7	39.77	43.98		
-7年目	H 23	1.0816	92.1	67.43	72.93		
-6年目	H 24	1.0400	92.1	203.41	211.55		
-5年目	H 25	1.0000	92.1	175.52	175.52		
-4年目	H 26	0.9615	92.1	221.03	212.52		
-3年目	H 27	0.9246	92.1	202.78	187.49		
-2年目	H 28	0.8890	92.1	275.21	244.66		
-1年目	H 29	0.8548	92.1	228.68	195.47		
供用開始年次	H 30	0.8219	92.1			9.19	7.55
1年目	H 31	0.7903	92.1			9.19	7.26
2年目	H 32	0.7599	92.1			9.19	6.98
3年目	H 33	0.7307	92.1			9.19	6.72
4年目	H 34	0.7026	92.1			9.19	6.46
5年目	H 35	0.6756	92.1			9.19	6.21
6年目	H 36	0.6496	92.1			9.19	5.97
7年目	H 37	0.6246	92.1			9.19	5.74
8年目	H 38	0.6006	92.1			9.19	5.52
9年目	H 39	0.5775	92.1			9.19	5.31
10年目	H 40	0.5553	92.1			9.19	5.10
11年目	H 41	0.5339	92.1			9.19	4.91
12年目	H 42	0.5134	92.1			9.19	4.72
13年目	H 43	0.4936	92.1			9.19	4.54
14年目	H 44	0.4746	92.1			9.19	4.36
15年目	H 45	0.4564	92.1			9.19	4.19
16年目	H 46	0.4388	92.1			9.19	4.03
17年目	H 47	0.4220	92.1			9.19	3.88
18年目	H 48	0.4057	92.1			9.19	3.73
19年目	H 49	0.3901	92.1			9.19	3.59
20年目	H 50	0.3751	92.1			9.19	3.45
21年目	H 51	0.3607	92.1			9.19	3.32
22年目	H 52	0.3468	92.1			9.19	3.19
23年目	H 53	0.3335	92.1			9.19	3.07
24年目	H 54	0.3207	92.1			9.19	2.95
25年目	H 55	0.3083	92.1			9.19	2.83
26年目	H 56	0.2965	92.1			9.19	2.72
27年目	H 57	0.2851	92.1			9.19	2.62
28年目	H 58	0.2741	92.1			9.19	2.52
29年目	H 59	0.2636	92.1			9.19	2.42
30年目	H 60	0.2534	92.1			9.19	2.33
31年目	H 61	0.2437	92.1			9.19	2.24
32年目	H 62	0.2343	92.1			9.19	2.15
33年目	H 63	0.2253	92.1			9.19	2.07

34年目	H	64	0.2166	92.1			9.19	1.99
35年目	H	65	0.2083	92.1			9.19	1.91
36年目	H	66	0.2003	92.1			9.19	1.84
37年目	H	67	0.1926	92.1			9.19	1.77
38年目	H	68	0.1852	92.1			9.19	1.70
39年目	H	69	0.1780	92.1			9.19	1.64
40年目	H	70	0.1712	92.1			9.19	1.57
41年目	H	71	0.1646	92.1			9.19	1.51
42年目	H	72	0.1583	92.1			9.19	1.45
43年目	H	73	0.1522	92.1			9.19	1.40
44年目	H	74	0.1463	92.1			9.19	1.34
45年目	H	75	0.1407	92.1			9.19	1.29
46年目	H	76	0.1353	92.1			9.19	1.24
47年目	H	77	0.1301	92.1			9.19	1.20
48年目	H	78	0.1251	92.1			9.19	1.15
49年目	H	79	0.1203	92.1	-73.52	-8.84	9.19	1.11
合計					1970.83	2174.53	459.52	168.76
単純事業費計						2044.35		459.52

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道478号 丹波綾部道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.33	29.2	9.65

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)			維持管理費(億円)	
				単純単価	評価基準年度価格	現在価値	単純単価	現在価値
-4年目	H 26 2014	0.9615	92.1	221.03	221.03	212.52		
-3年目	H 27 2015	0.9246	92.1	202.78	202.78	187.49		
-2年目	H 28 2016	0.8890	92.1	275.21	275.21	244.66		
-1年目	H 29 2017	0.8548	92.1	228.68	228.68	195.47		
供用開始年次	H 30 2018	0.8219	92.1				9.19	7.55
1年目	H 31 2019	0.7903	92.1				9.19	7.26
2年目	H 32 2020	0.7599	92.1				9.19	6.98
3年目	H 33 2021	0.7307	92.1				9.19	6.72
4年目	H 34 2022	0.7026	92.1				9.19	6.46
5年目	H 35 2023	0.6756	92.1				9.19	6.21
6年目	H 36 2024	0.6496	92.1				9.19	5.97
7年目	H 37 2025	0.6246	92.1				9.19	5.74
8年目	H 38 2026	0.6006	92.1				9.19	5.52
9年目	H 39 2027	0.5775	92.1				9.19	5.31
10年目	H 40 2028	0.5553	92.1				9.19	5.10
11年目	H 41 2029	0.5339	92.1				9.19	4.91
12年目	H 42 2030	0.5134	92.1				9.19	4.72
13年目	H 43 2031	0.4936	92.1				9.19	4.54
14年目	H 44 2032	0.4746	92.1				9.19	4.36
15年目	H 45 2033	0.4564	92.1				9.19	4.19
16年目	H 46 2034	0.4388	92.1				9.19	4.03
17年目	H 47 2035	0.4220	92.1				9.19	3.88
18年目	H 48 2036	0.4057	92.1				9.19	3.73
19年目	H 49 2037	0.3901	92.1				9.19	3.59
20年目	H 50 2038	0.3751	92.1				9.19	3.45
21年目	H 51 2039	0.3607	92.1				9.19	3.32
22年目	H 52 2040	0.3468	92.1				9.19	3.19
23年目	H 53 2041	0.3335	92.1				9.19	3.07
24年目	H 54 2042	0.3207	92.1				9.19	2.95
25年目	H 55 2043	0.3083	92.1				9.19	2.83
26年目	H 56 2044	0.2965	92.1				9.19	2.72
27年目	H 57 2045	0.2851	92.1				9.19	2.62
28年目	H 58 2046	0.2741	92.1				9.19	2.52
29年目	H 59 2047	0.2636	92.1				9.19	2.42
30年目	H 60 2048	0.2534	92.1				9.19	2.33
31年目	H 61 2049	0.2437	92.1				9.19	2.24
32年目	H 62 2050	0.2343	92.1				9.19	2.15
33年目	H 63 2051	0.2253	92.1				9.19	2.07
34年目	H 64 2052	0.2166	92.1				9.19	1.99
35年目	H 65 2053	0.2083	92.1				9.19	1.91
36年目	H 66 2054	0.2003	92.1				9.19	1.84
37年目	H 67 2055	0.1926	92.1				9.19	1.77
38年目	H 68 2056	0.1852	92.1				9.19	1.70
39年目	H 69 2057	0.1780	92.1				9.19	1.64
40年目	H 70 2058	0.1712	92.1				9.19	1.57
41年目	H 71 2059	0.1646	92.1				9.19	1.51
42年目	H 72 2060	0.1583	92.1				9.19	1.45
43年目	H 73 2061	0.1522	92.1				9.19	1.40
44年目	H 74 2062	0.1463	92.1				9.19	1.34
45年目	H 75 2063	0.1407	92.1				9.19	1.29
46年目	H 76 2064	0.1353	92.1				9.19	1.24
47年目	H 77 2065	0.1301	92.1				9.19	1.20
48年目	H 78 2066	0.1251	92.1				9.19	1.15
49年目	H 79 2067	0.1203	92.1				9.19	1.11
合計				926.69	926.69	840.02	459.52	168.76
単純事業費計					927.69		459.52	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

